

医療倫理学教室

<http://www.ethps.m.u-tokyo.ac.jp/>

医療倫理学分野では、
医療に関わる政策決定や臨床現場での倫理的判断の基礎となる倫理・哲学的理論の研究と教育活動を行なっています。

政策

- COVID-19に関する倫理（隔離・検疫、医療資源配分）
- タバコに関する倫理
- iPS細胞、ES細胞
- 各種医療に関する規制など



研究

- 医学研究審査体制の整備
- 研究不正や利益相反
- 被験者保護

など



臨床

- 臨床倫理コンサルテーション
- 終末期医療の倫理
- 臓器移植問題
- 代理出産、卵子提供など



授業では、
医療倫理学に関する諸問題を理解するだけにとどまらず、倫理的な考え方を身に付けることを重視しているため、
全体講義や文献講読のほか、
グループ・ディスカッションや演習などにも重点を置いています。

担当講義（学部）

- ❖ 生命・医療倫理Ⅰ（2年次）
- ❖ 生命・医療倫理Ⅱ（3年次）
- ❖ 臨床倫理（3年次）
- ❖ 公共健康科学演習Ⅱ（4年次）
- ❖ 健康行動の理論と科学（4年次）
- ❖ 公衆衛生倫理（4年次）

ここは
今から
医療倫理
です。

教室スタッフ



中澤栄輔講師、赤林朗教授、瀧本禎之准教授

林令奈助教
森克美技官

過去の卒業研究（一部）

- ・エンハンスメントの倫理的問題点
- ・代理懐胎の規制と親子関係確定法の国際比較
- ・安楽死の検討
- ・生体からのvital organの移植に関する論点整理
- ・腎臓交換移植の倫理と展望
- ・「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」におけるオプトアウト要件の考察
- ・COVID-19接触確認アプリケーションの調査と公衆衛生倫理的観点からの評価

卒業生の進路

- 【進学】SPH、医学部進学、他大学院、留学等
- 【就職】公務員、病院、民間企業等

CBEL REPORT

日本における生命倫理・医療倫理研究のさらなる発展に資するために、
オンライン・ジャーナルを発行しています。投稿は随時募集。
本誌は年2回発行されます。
(3月および9月)



教室研究会：水曜午後

教室は、医学部3号館4階です！
見学大歓迎！ご連絡お待ちしております！



The University of Tokyo Center for Biomedical Ethics and Law